

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力	育てたいとの関わり	基本施策	本年度新たな学校の重点		具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度かどうか)	評価 A S D	分析と改善点							
方針・重点・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学び ②地域との協働 ③生きる力 ④地域社会への発信	輝け 東小の子 明るく やさしく たくましく	仲間を尊重し 自分から進んで 挑戦し続ける力	授業改善研究	授業改善研究	① 主体的に取り組む授業の創造	B	教師が、主体的な児童の姿(粘り強く取組みを行おうとしていること、自らの学習を調整しようとする)の育成を目指し、この観点に則った評価をする。(100%)	B	・今年度から「楽しい授業の花(掲示)」を作成し、月ごとに「つきたい力」を子供たちに示したことで、全校体制で同じ歩調で授業の向上を図ることができた。掲示を利用して、学級ごとに必ず振り返りを行うことができた。 ・授業における職員、児童の交流の場面が増え、多くの実践を積み重ねることができた ・児童が主体的に考え、仲間と対話をするなど、考えを深めるための学習を多く取り入れてきた教員(97%)。 ・タブレットの活用や仲間との意見交流や自分で考えることで楽しく学ぶことができた児童(97%) ▲楽しい授業の花の利用方法や児童の姿についての評価方法について職員間での実践の共有ができるようになった。							
						① 対話によって深まる授業の創造		教師が、対話を通して深まる授業の具体を共通理解し、様々な課題解決のための手法として対話が生かされる授業の実践を積む。「授業では仲間との対話を通して学ぶことが多くあった。」と思う児童90%以上		A							
						① マトリックスを活用した授業改革		掲示「楽しい授業の花」を活用し、児童自らが、授業への取り組みの高まりを実感したり、課題を確認したりする。「学級で楽しい授業の花を使って、振り返りができた。」と思う児童90%以上			B						
						地域との協働学習		地域との協働学習				③ 煥章学の充実	A	どの学年も、地域で、または地域の方から学ぶ活動を通して、地域を知り、ふるさとへの興味関心を高めることができる。「地域についての学習に興味をもって取り組んだ」と思う児童90%以上			
												③ 地域に発信する活動		150周年記念式典での煥章学の発表では、保護者や地域の方とのやりとりをしながら、自分の言葉で伝えようとする事ができる。「やりとりをしながら、自分の言葉で伝えることができた」と思う児童90%以上	A		
												③ まちづくり協議会との協働の推進		まちづくり協議会との協働を行う際に、対話や活動を共にする中で、新しい協働のあり方を考え、実行する。(できたと答える教員が100%)		A	
						よりよい人間関係の構築		よりよい人間関係の構築				② 「なりたい自分」を大切にしたい取り組みの充実①		B			学年に合わせた「なりたい自分」カードを利用し、めあての設定と取り組み、振り返りがどの学級でも適切に進めることができる。(全ての学級)
												② 「なりたい自分」を大切にしたい取り組みの充実②					学級で「なりたい自分」の内容についてこだわるための手立てがあり、仲間同士、または教師からの認めが日常的にある。(全ての学級)

学校運営協議会における主な評価内容

【学校経営全体計画】内容的には前年度の継承でよい。「主体的」「自ら動く」とはどういうことか、教職員、保護者共に考え、児童一人ひとりが自ら学ぼうとする教育活動を創造したい。  
 【岩滝小学校との合併について】今から両校で学校経営についてのすり合わせをしていく必要がある。今のユニバーサルデザイン学校を継承していくのかについて等。